



東京情報大学入学式における学長式辞

東京情報大学

学 長 新沼 勝利

桜花爛漫の佳き日に、多数のご来賓、ご家族ならびに関係者の方々をお迎えして、平成21年度東京情報大学の入学式を執り行いますことは、誠に慶びに堪えません。心から歓迎と祝意の意を表します。

本日は、ご来賓として、大変ご多用の中、本学の設置者である学校法人東京農業大学 松田藤四郎理事長（松田理事長は 本学 前学長であります）、設置母体を同じくする東京農業大学・東京農業大学短期大学部 大澤貫寿学長、学校法人東京農業大学の理事、監事、名誉顧問の皆様、群馬県高崎市にあります東京農業大学第二高等学校 松本兼太郎校長、東京農業大学校友会 丸豊 千葉県副支部長、東京情報大学後援会 福田洋二会長並びに東京情報大学校友会 植原秀弥会長、ほか多数の方々のご出席をいただいております。ここに厚くお礼申しあげます。

ただ今、入学を許可された大学院総合情報学研究科 博士後期課程4名、博士前期課程23名、総合情報学部 情報システム学科、環境情報学科、情報ビジネス学科、情報文化学科の4学科522名、編入生14名、合計563名の皆様、入学おめでとうございます。今日から皆さんは本学の学生になりました。

本日の入学生の中には、留学生が男子36名、女子17名の合計53名が含まれています。留学生の皆様、言語も生活習慣も文化も異なる日本で学ぶのは大変な事でしょう。本学には地元地域のお母さん方が中心になって組織するボランティア「留学生との交流を深める会」があります。バス旅行の会、クリスマス会、異文化交流の会などが開催されますので、積極的に参加して日本の文化に親しんで欲しいと思います。

入学生の皆様、勉学に、課外活動に、青春の情熱を傾け悔いのない学生生活を送ってください。

入学式にあたり、在学中に認識し、また心にとどめて欲しいことを3つ述べます。本学の「建学の精神」、「教育理念」、「人間形成の理念」のことです。

その一つは、本学の「建学の精神」は「未来を切り拓く」です。「未来を切り拓く」とはパイオニア精神のことです。

本学は今年22年目を迎えましたが、昭和63年（1988年）に学校法人東京農業大学によって設置されました。東京農業大学は今年創立118年目を迎える、わが国で最も古く、また最大規模を誇る農学系の私立大学です。東京農大の創設者は、戊辰戦争最後の戦いである函館戦争を起した総指揮官であった榎本武揚です。榎本は敗軍の将として囚われの身となりましたが、その抜群の才能が惜しまれ、一命をとりとめ、明治新政府の通信大臣、文部大臣、外務大臣、農商務大臣を歴任しました。

また、榎本は幕府留学生第一号としてオランダで勉強しましたが、その一つに電信技術の修得があります。モールス電信技術をマスターし、帰国の時、モールス電信器を持ち帰ります。日本最初のモールス電信器です。

現在その電信器は、東京大手町の通信総合博物館に収められています。フランス製の「ディニエ印

字電信器」です。幕末の戦乱でわからなくなりましたが、その電信器と再びめぐり合ったのは、通信大臣就任後だったと言われています。会長として招請された電気学会の席上、沖という人が持参の古びた電信器を目にして驚きました。その電信器だったのです。

東京情報大学は21世紀の高度情報化社会を支える人材の育成を目指して、学校法人東京農業大学によって設立されましたが、それは榎本武揚が明治政府初代の通信大臣として、電信情報のインフラ整備に情熱を注いだ、その線路上につながるものです。榎本は電信ばかりでなく、北海道開拓、メキシコ移住地の開発、不平等条約への取り組みなど新生日本の未来を切り拓いて行きました。本学は、この榎本武揚の「未来を切り拓く」情熱、パイオニア精神、チャレンジ精神を建学の精神としています。

新入生の皆さん、何事にも積極的にチャレンジし、未来を切り拓くパイオニア精神を大いに培ってください。

第二は、本学の「教育理念」は「現代実学主義」です。実学は実際に役立つ応用科学だといってもいいでしょう。応用科学を進めるためには、その基礎科学をしっかりと学び身につけることが大切です。

実学は実際の経験、体験を通じ、あるいは実際の事物、社会現象から科学的本質に迫る研究方法です。東京農大の初代学長横井時敬先生は実学主義教育研究の理念を「稲のことは稲に聞け、農業のことは農民に聞け」と言いつづけました。体験、経験、事実から学ぶ姿勢を大事にしてください。

現代実学主義教育研究理念をかかげ、そのためのカリキュラムの改正、分野研究室制度など制度改革と学生の教育環境条件の整備に努めてきました。今や、学生研究室も含め情報系の大学、学部ではどこにもヒケをとらないトップレベルの大学だと自負しています。三年次から全員が研究室に所属します。研究室のすぐ隣には教員研究室がありますから先生とコミュニケーションをより深めてください。現代実学主義について大いに議論を深め、この思想を身につけるように努力し実践してください。

また、総合的キャリア教育として、大学生活のなかで「なりたい自分」や「なれる自分」について考え、満足がいく進路（就職、進学など）選択ができるように「専門教育および基礎能力を強化」「対人能力強化」「職業意識の醸成」「就職支援」を1年次からカリキュラムに取り込んでいます。

そして資格取得に取り組んでください。資格取得は有力な就職対策の一つとして、さらにコツコツ勉強することの大切さを実感するためにも取り組まれることをお勧めします。今年からITパスポート試験を2年次生になったとき全員に受験してもらうことにしています。

初級システムアドミニストレータ、情報セキュリティアドミニストレータ、ソフトウェア開発技術者など、コンピュータ関係の資格取得のためにサポートしています。各種スコラの説明会がありますので、積極的に参加し、チャレンジしてください。

第三は、本学の人間形成の理念は「自立と協調の精神」です。

最近、親離れができない、他人に依存する、自分の考えがしっかりしていないという青年が目立つとも言われています。アメリカ発の世界金融危機や地球温暖化など、激動の21世紀を生き抜くためには、自分がしっかりしなければなりません。自立した人間になるように努力すること、そして他人と協調していくことが大切です。社会は人間の集団です。協調なくして何ごとも実現できません。自立と協調のバランスをとることが大切です。

では、自立と協調の精神を具体的にどのような場で培うかですが、本学では課外活動を奨励しています。各種のクラブ、サークル、翔風祭実行本部など、様々な課外活動団体に属し、練習、試合などを通して、多くの友人と切磋琢磨して成長してもらいたいと思います。

本学のクラブ・サークル活動は活性化しています。特に硬式野球部はここ数年で、千葉県野球リーグで三度の優勝、2人のプロ野球選手を出しています。バトミントン部の男子・女子は昨年、千葉県バドミントンリーグでアベック優勝しました。硬式野球部と、サッカー部の男子・女子、バトミントン部の男子・女子は強化指定部としてさらに活躍を期待しています。また、10月には学園祭・翔風祭が行われます。諸君が積極的に加わって盛り上げてください。

建学の精神である「未来を切り拓く」パイオニア精神を忘れずに心に持ち続けてください。研究室や実習・演習を通して、「教育理念」である「現代実学主義」を学んでください。課外活動で「人間形成の理念」である「自立と協調の精神」を培ってください。

特に東京農業大学と東京情報大学は兄弟校であり、東京農業大学と本学との間には、単位の互換、国内留学の制度がありますので是非活用してください。一昨年はオホーツクの生物産業学部から2名の学生が、ここ情報大キャンパスで学んでいきました。昨年は、本学の学生1名がオホーツクへ学びにいきました。北の大地オホーツクでキャンパスライフを送るのもよいでしょう。学生同志の交流を盛んにしてください。

学校法人東京農業大学のファミリーには東京情報大学のほかに、東京農業大学、同短期大学部、東京農業大学第一高等学校、第二高等学校、第三高等学校、第一高等学校中等部、この4月開校しました第三高等学校附属中学校、それに東京農業大学成人学校があります。いろいろな機会に絆を深めてください。

それでは、健康に十分留意して学生生活をエンジョイしてください。また悔いのない有意義な生活を送ってください。本学は自家用車通学を認めていますので、特に事故には十分に留意してください。諸君の成長を大いに期待して式辞といたします。

平成21年4月5日